第２次熊本市都市マスタープラン（地域別構想）の見直しに関する住民説明会の開催結果

１　開催日時・場所・参加人数

区	日時	会場	参加人数
中央区	5月7日（月） 14:00～15:00	熊本市役所 14F大ホール	23
	5月7日（月） 19:00～20:00		4
東区	5月8日（火） 19:00～20:00	託麻公民館	4
	5月9日（水） 14:00～15:00		14
西区	4月26日（木） 14:00～15:00	西部公民館	17
	4月27日（金） 19:00～20:00		4
南区	4月26日（木） 19:00～20:00	富合公民館（アスパル富合）	8
	4月27日（金） 14:00～15:00		13
北区	5月8日（火） 14:00～15:00	植木公民館（植木文化センター）	22
	5月9日（水） 19:00～20:00		8
計			117

２　説明会の周知及び報道について

【周知】

〇市政だより４月号掲載

〇熊本市の全自治会長及び全校区自治協議会長へ案内文の送付（1,013 通）

〇熊本市ホームページ掲載

〇報道投げ込み

３　主なご意見（抜粋）

要点		主な意見
災害に関する事項	避難所	・海岸沿いの集落には、近くに逃げる場所が無い。避難施設を整備してほしい。 ・指定避難場所が使用できなくなった場合の想定が必要である。 ・富合町周辺では、九州新幹線の高架橋が最も高い。当該箇所を災害時の避難場所として活用できるように検討してほしい。
	防災士資格取得講座	・防災士資格の取得にあたり、試験料及び登録料の補助はあるのか教えてほしい。 ・防災士を既に取得している人とこれから取得する人の費用に差が付くことがないようにしてほしい。
	その他	・熊本駅周辺地区で計画されている災害時の帰宅困難者への対策については、上熊本駅などでも同じ対策が必要だと思う。 ・災害時の共助に備え、自治会長に対して個人情報を提供してほしい。
その他	地域拠点	・地域拠点へ都市機能が立地するための具体的な誘導施策を教えてほしい。
	公共交通	・コミュニティ交通について、利用者が少ないから廃止になっている。何のためにあるのかを考え、制度を改善してほしい。
	パブリックコメント	・パブリックコメントについて、これまで地域に十分な周知が図られていない。

都市政策関連説明会での意見の要旨とそれに対する見解
【中央区】平成 30 年 5 月 7 日 PM2 時～、PM7 時～

分類	意見の要旨	見解　※【】内は担当課
都市マス	① 新町・古町では、多くの更地、空き地が広がり、都市のスポンジ化が始まっている。都市の再生という観点を追加してほしい。	新町・古町など、文化財や歴史的資源を将来にわたって保存活用することによる歴史まちづくりを目指すため、歴史的風致維持向上計画を策定する予定である。今回の見直しでは、特に都市防災の観点から行うが、今後、全体的な見直しを行う場合には、都市の再生という観点についても検討が必要だと考える。【開発景観課、都市政策課】
	② 指定避難場所が使用できなくなった場合の想定が必要である。	桜町・花畑地区では、新たな広いオープンスペースを活用するとともに、民間事業者とも連携を図っていく。【危機管理防災総室】
	③ 昭和 28 年 6 月 26 日の水害のように、熊本市役所周辺が浸水し、機能不全に陥る場合を想定したほうが良いと思う。	市内各所に防災拠点施設を配置することを検討している。【危機管理防災総室】
	④ 防災士資格の取得にあたり、試験料及び登録料の補助はあるのか教えてほしい。	現在、検討中である。【危機管理防災総室】
	⑤ 防災士を既に取得している人とこれから取得する人の費用に差が付くことがないようにしてほしい。	担当部局にご意見を伝えた。【危機管理防災総室】
	⑥ 防災士資格取得の予定人数を教えてほしい。	各校区防災連絡会に 1 人いるような体制の構築を目指す。【危機管理防災総室】

都市政策関連説明会での意見の要旨とそれに対する見解
【東区】平成 30 年 5 月 8 日 PM7 時～、平成 30 年 5 月 9 日 PM2 時～

分類	意見の要旨	見解　※【】内は担当課
都市マス	① 地域拠点の決め方を教えてほしい。	医療、商業等の都市機能や行政サービス機能の立地状況、交通の要衝である地区などを総合的に評価し設定している。【都市政策課】
	② 居住誘導区域内への居住を支援する施策を教えてほしい。	現在、15 の地域拠点のうち、13 の地域拠点では、都市機能が維持・確保されている。また、居住誘導区域の人口密度についても、60.7 人/ha(H27：住民基本台帳より集計)から、熊本地震で少々低下し、60.6 人/ha(H29：住民基本台帳から集計）となったものの、一定程度の人口が確保されている。このことから、今後の推移を注視して、具体的なインセンティブの内容や時期について検討していく。【都市政策課】
	③ 藻器堀川周辺は、液状化の恐れが高い地区である。市として、近見地区と同様の対策を事前に行うことはあるのか教えてほしい。	液状化の可能性がある地区は広範囲に及んでおり、市として事前に対策を行うことはできない。 家を新築等される際などは、ハザードマップを確認し、液状化対策を各自で行って頂きたい。【震災宅地対策課、危機管理防災総室】
	④ 防災士資格取得の目標人数を教えてほしい。	各校区防災連絡会に 1 人いるような体制の構築を目指す。【危機管理防災総室】
	⑤ 現役又は退役の消防士は、防災士を取得されているのか教えてほしい。	消防士であれば、基本的に防災士の資格を取得されているようである。【危機管理防災総室】

都市政策関連説明会での意見の要旨とそれに対する見解
【西区】平成 30 年 4 月 26 日 PM2 時～、平成 30 年 4 月 27 日 PM7 時～

分類	意見の要旨	見解　※【】内は担当課
都市マス	① 津波が起きた場合、中島校区等では、近くに避難場所が無い。例えば、地区毎の高台整備といった早期実現が可能な取組みを検討してほしい。	避難場所として、まちづくりセンターや小中学校などの既存施設活用の検討に加え、その他の選択肢についても検討を行う。【危機管理防災総室】
	② 熊本駅周辺地区で計画されている災害時の帰宅困難者への対策については、上熊本駅などでも同じ対策が必要だと思う。	先ずは、市内最大の交通の要衝である熊本駅周辺地区や桜町・花畑地区において、対策を実施する。その結果を踏まえ、他の場所でも対策を検討したい。【熊本駅周辺整備事務所、危機管理防災総室】
	③ 熊本地震直後の春日小学校では、熊本駅周辺地区の帰宅困難者が集中し、地元住民の避難スペースが無かった。	熊本駅白川口(東口)駅前広場では、イベントなどが開催できるスペースを新たに設け、災害時には、熊本駅周辺地区の帰宅困難者の避難場所として活用する計画を進めている。さらには、災害時に、周辺の民間企業と連携するエリア防災について検討を行う。【熊本駅周辺整備事務所、危機管理防災総室】
	④ 熊本駅周辺の白川では、過去複数回にわたり洪水が発生し、甚大な被害を受けてきた。白川では、今後どのような対策を講じられるのか教えてほしい。	現在、国及び県が主体となって、ダム建設や河川改修を行っている。また、熊本駅周辺地区では、水害時に備え、森都心プラザなどの高い建築物に避難できるように、検討している。【危機管理防災総室、河川課】
	⑤ 地域拠点へ都市機能が立地するための具体的な誘導施策を教えてほしい。	現在、15 の地域拠点のうち、13 の地域拠点では、都市機能が維持・確保されている。また、居住誘導区域の人口密度についても、60.7 人/ha(H27：住民基本台帳より集計)から、熊本地震で少々低下し、60.6 人/ha(H29：住民基本台帳から集計) となったものの、一定程度の人口が確保されている。このことから、今後の推移を注視して、具体的なインセンティブの内容や時期について検討していく。【都市政策課】

都市政策関連説明会での意見の要旨とそれに対する見解
【南区】平成 30 年 4 月 26 日 PM7 時～、平成 30 年 4 月 27 日 PM2 時～

分類	意見の要旨	見解　※【】内は担当課
都市マス	① これまで、県では、防災士養成講座が実施されていたが、今回、市では、どのような取組をされるのか教えてほしい。	本市においても、県と同様に防災士の資格を取得するための講座を開催したいと考えている。【危機管理防災総室】
	② 老若男女問わず防災士の資格が取得できるようにしていただきたい。	防災士の資格取得にあたり、年齢制限は無い。また、各校区防災連絡会に 1 人いるような体制の構築を目指す。【危機管理防災総室】
	③ 防災士資格取得に必要なテキスト代や登録料に対して、市からの助成金はあるのか教えてほしい。	現在、検討中である。【危機管理防災総室】
	④ 過去に県が開催された防災士養成講座では、寒い時期であったため、体調不良で受講出来なかった。このことから、防災士養成講座の開催時期についても検討していただきたい。	担当部局にご意見を伝えた。【危機管理防災総室】
	⑤ 洪水が起きた場合、御幸木部校区等では、近くに避難場所が無い。	担当部局にご意見を伝えた。【危機管理防災総室】
	⑥ 熊本市第 2 次熊本市都市マスタープラン(地域別構想)において、御幸木部地区周辺は、優良な農業生産基盤との共生すべき区域に該当している。しかし、実態では、低湿地地帯でお米の生産しか適さないことから、農業に固執する必要がないと考える。このことから、区域区分を見直し、市街化調整区域である当該地区を市街化区域に編入してほしい。	今後の人口減少下においては、税収の減少やインフラの維持管理費の増大などが見込まれており、市街地の拡大を前提としたまちづくりを進めることは難しいと考えている。【都市政策課】
	⑦ 災害時の共助に備え、自治会長に対して個人情報を提供してほしい。	災害時要援護者避難支援制度において災害時要援護者（申請制）の名簿を自治会長、民生委員等の地域の支援者に提供し、災害発生に備えている。また、別途避難行動要支援者名簿を作成しており、覚書を締結している地域の支援者に災害発生後にお渡しし安否確認等に活用することとしている。【危機管理防災総室、健康福祉政策課】

	⑧ 災害種別に応じて使用できる避難場所の確認方法を教えてほしい。	熊本市ホームページに掲載している。また熊本市 LINE を通じて閲覧することもできる。【危機管理防災総室】
	⑨ 災害時に、避難所の開設状況について情報提供してほしい。	熊本市災害情報メールの配信などを通じて連絡している。【危機管理防災総室】
	⑩ 富合町周辺では、九州新幹線の高架橋が最も高い。当該箇所を災害時の避難場所として活用できるように検討してほしい。	担当部局にご意見を伝えた。【危機管理防災総室】

都市政策関連説明会での意見の要旨とそれに対する見解
【北区】平成 30 年 5 月 8 日 PM2 時～、平成 30 年 5 月 9 日 PM7 時～

分類	意見の要旨	見解　※【】内は担当課
都市マス	① 多核連携都市の基本的な考え方を教えてほしい。	中心市街地と 15 の地域拠点には、人口減少下においても、買い物や通院などができるように、都市機能を維持・確保し、かつ、地域拠点間等を利便性の高い公共交通で結んだ都市構造である。【都市政策課】
	② 防災士資格取得にあたり、年齢制限について教えてほしい。	年齢制限は無い。【危機管理防災総室】
	③ これまで、防災士資格取得に向けて、複数人が試験を受けたが、不合格であった。このことから、熊本市主体の勉強会を複数回実施してほしい。	担当部局にご意見を伝えた。【危機管理防災総室】
	④ 都市機能等を維持・確保するための施策について、教えてほしい。	現在、15 の地域拠点のうち、13 の地域拠点では、都市機能が維持・確保されている。また、居住誘導区域の人口密度についても、60.7 人/ha(H27：住民基本台帳より集計)から、熊本地震で少々低下し、60.6 人/ha(H29：住民基本台帳から集計）となったものの、一定程度の人口が確保されている。このことから、今後の推移を注視して、具体的なインセンティブの内容や時期について検討していく。【都市政策課】